

当日は、小雨が降り続き足元が悪かったが、自家用車5台に分乗して2施設を訪問した。教育会・退公連の員の皆さんも年々高齢化しており、福祉施設に関心が高く、17名が参加した。

○ 若草町の「サービス付高齢者向け住宅・ツクイ」では、男女2グループに分かれて、職員の説明を聞きなが各部屋を見学。「デイサービスの部屋」には、すでに24～25名の方々が訪れており、塗り絵・積み木・機能回復マシンなどで過ごされていた。「共用施設」には、語らいや触れ合いを通して、快適な生活を過ごすための多目的・エントランスホール・浴室・共有キッチンなどが整っていた。「専用部屋」は、洋室8.8畳が中心で、様式トイレ・キッチン・クローゼットなどが備えられている。勿論、段差の少ないバリアフリーとなっている。ただ、料金面ではかなりの費用を要する。Bタイプ(標準型)の場合は、月々の部屋代110,000円、介護自己負担費19,600円、食事代45,000円の計174,600円ほど必要。自己負担のおしめ代などを含むと大体20万円となり、我々の厚生年金でギリギリ一杯である。



○ 2ヶ所目の施設は、衣山5丁目にある「高齢者総合福祉施設・ていれぎ荘」。主な事業は、特別養護老人ホーム(特老)の経営・老人デイサービス事業・老人特別入所生活介護事業など。施設のキャッチフレーズは「百人百色のあったか介護」だそうで、入所者の皆さんが、豊かな日々を過ごせることを努力目標に掲げていた。入所定員60名、職員57名、入居待機者は50名とのことだが、開所当時は約150～160名が待っていたそうだ。費用は、市民税非課税世帯で高齢福祉年金受給者の負担は月額6～7万円、一定の所得のある65才以上の利用者では月額15～17万円と介護度・収入に応じて異なっている。設備面では、特に浴室に工夫がされていた。最新式の機器が導入され、入所者も介護する側にも負担を軽減し、気持ち良く入浴できる方法をとっていた。入居者同士の触れ合いや地域との交流にも力を入れており、「いきいき味酒野」・「みさけのカフェ」などの催しも多い。見学後、「健康体操」で体をほぐし、当日の施設メニュー(実費345円)を味わった後、小雨の中解散した。



7月のお知らせ 次回7月18日(水) 余土校区散策 集合午前9時伊予鉄余戸駅(郡中線)

- 余土公民館 ①森二郎先生の講話とビデオ鑑賞 ②「森盲天外」の一生 ③質疑応答
- 余土校区散策 ①森盲天外記念碑 ②子規の叔父の生家見学 ③旧余土村役場の跡地見学
- 昼食 「ローズ・ハウス」にてバイキング料理を楽しむ予定 ※余土支部からも3～4名参加。